独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
平成26年度第2回契約監視委員会 議事概要

1. 日 時：平成26年7月16日（水）10：00～12：00
2. 場 所：農研機構本部 特別会議室
3. 出席者：木村委員長、小林（保）委員、高橋委員、松沼委員
前島委員、西山委員、小林（一）委員

4. 議 題

(1) 農研機構からの報告・提案

- ① 前回委員会での要請に対する報告
- ② 随意契約、一者応札・応募の点検について

(2) 契約の見直しの適正性の審議・検証等

- ① 競争性のない随意契約（14件）（平成26年1月～平成26年3月）
- ② 一者応札・応募案件（124件）（平成26年1月～平成26年3月）
- ③ 随意契約新規案件の事前審議及び事後報告

(3) その他

5. 議事概要

上記議題について事務局からの説明後、審議が行われた。主な内容は以下の通りであった。

(1) 農研機構からの報告

① 前回委員会での要請に対する報告

- ・前回委員会で意見のあった「一者応札・応募案件に係る今後の対応を、アンケート結果等の分析結果により対応するとしたものについて、分析結果によりどのように具体的に対応するかを、資料に反映されたい」について、今回の資料からアンケート結果の分析を踏えた対応を記述した。

(2) 契約の見直しの適正性の審議・検証等

① 競争性のない随意契約

- 競争性のない随意契約について審議した結果、今後一般競争入札に移行すべきとされた案件はなかった。

② 一者応札・応募案件

一者応札・一者応募に関して入札方法、不参加者へのアンケート調査、予定価格の積算などに関し審議が行われ、委員から以下の意見があった。

- ・郵便入札の導入や、複数年契約としたことにより応札者が2者以上となった案件があるか確認し報告してほしい。
- ・年度末に工事契約の入札を行っているが、建設業者は決算期でもあり、多忙な時期であるため、早期の入札執行手続に努めるべきと考えられる。

③ 機構側から「保守契約のうち複数年契約に変更したものについては、これ以上の改善が見込めないため「改善の余地がない」ものと整理してよいか」との提案があったが、今後の独法における「調達合理化」を見据えて判断する必要があると考えられるため、改めて審議することとされた。

④ 随意契約新規案件の事前審議

事前審議に付された3件について、一般競争入札によるべきとされたものは無かった。

以 上